

小田原保健医療学部 看護学科 履修系統図

カリキュラムポリシー(どのような学生を育てたいのか)

- ①看護師・保健師として豊かな人間性とアイデンティティを育成する。
- ②人間の健康に寄与する専門職として、看護の本質を追究する学習に主体的かつ創造的に取り組む姿勢を育成する。
- ③ヒューマンケアの専門職として必要不可欠なスキルを獲得し、保健医療福祉分野におけるチーム医療において協働できる能力を育成する。
- ④物事の本質をつみ、幅広く学問を探求し、論理的に思考できる能力を育成する。
- ⑤科学的な根拠に基づく判断力と、問題解決ができる基礎的な看護実践能力を育成する。
- ⑥国内外の健康課題を理解し、国際的な視野で問題解決を図る能力を育成する。

ディプロマポリシー(4年間でどのような能力を身につけてほしいのか)

- ①人間への深い関心と尊厳をもって看護の対象を理解し、看護実践の場における倫理的な対応ができる。
- ②多様な学問領域に関心をもち、人間や健康を学際的にとらえることができる。
- ③自ら学問を探求する姿勢や学習課題を明らかにし、課題達成に取り組むことができる。
- ④看護におけるさまざまな事象に対して、論理的かつ批判的に考え行動できる。
- ⑤他者の感情や体験に共感できるような感性を磨き、人間関係を円滑に築くことができる。
- ⑥個人、家族、組織、地域社会における健康課題を査定し、チームの一員として基本的な看護実践ができる知識・技術・態度を持つことができる。
- ⑦国内外における看護の機能と役割を追求する姿勢をもつことができる。

分野・領域	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人間系	コミュニケーション概論 教育学(養・必修)		文学論、演劇論、心理学、哲学、人間学、歴史学、倫理学、文化人類学、死生学-死を通して生を考える、雑談と傾聴～話す力と聞く力、宗教学、日本近現代史					
社会系	医療関連法規 法学(保・選択必修、養・必修)		法と道徳・倫理、社会学、マスメディア論、経済学基礎I(経済原論)、経済学基礎II(日本経済論)、国際医療福祉論、組織運営管理論、海外保健福祉事情、社会保障制度論、ボランティア論、世界遺産と国際文化政策					
自然・情報系	情報処理I(総論)	統計学	物理学、化学、生物学、情報処理II(各論)、生命倫理、医学/医療史、人間工学					
総合系	大学教養入門		医療福祉教養講義、メディカルマナー入門					
外国語系	英語A-1(講読基礎) 英語B-1(聴解・発話基礎) ドイツ語初級1(基礎) 中国語初級1(基礎) 資格英語1(Primary) 基礎英文法1(Primary)	英語A-2(講読応用) 英語B-2(聴解・発話応用) ドイツ語初級2(応用) 中国語初級2(応用) 資格英語2(Basic) 基礎英文法2(Basic)	英語A-3(講読中級1) 英語C-1(英会話初級)	英語A-4(講読中級2) 英語C-2(英会話中級)				
保健体育系	健康科学実践(保・選択必修、養・必修)	健康科学理論(保・選択必修、養・必修)						
専門基礎科目 ※: 学部共通科目	公衆衛生学 保健医療福祉制度論 臨床心理学概論 ケースワーク論 社会福祉学	リハビリテーション概論 医療管理学 福祉支援工学概論 リスクマネジメント論	医療情報学概論	関連職種連携論 ケアマネジメント論 生体情報処理概論 救急医学			関連職種連携実習(選択必修) ^{注1)}	
専門基礎科目 ※: 看護学科科目	解剖学I(運動器系・内臓学・循環器系) 生理学I(植物性機能) 栄養学 微生物学	解剖学II(内臓学・神経系) 生理学II(動物性機能、内分泌)	解剖学・生理学演習 疫学 病理学 薬理学 疾病・治療論I(呼吸、循環、腎泌尿器系) 疾病・治療論II(消化、代謝・内分泌系) 疾病・治療論III(免疫、脳神経、運動器、精神系)	保健統計学I 看護英語I(基礎)	看護英語II(発展)			
養護教諭コース 専門基礎科目	教職入門(養) 教育課程論(養) 発達心理学(養)	特別支援教育概論(養)	教育方法論(養) 養護概説(養) 特別活動及び総合的な学習の時間の基礎(養)	道徳教育の理論と実践(養) 教育相談の基礎と方法(養) 生徒指導論(養) 救急医学(養)			教職実践演習(養)	
保健師コース 専門基礎科目							保健医療福祉行政論(保) 保健統計学II(保) 地域疾病論(保)	
専門分野I	看護学原論 看護援助論I(共通基本技術)	看護援助論II(生活援助技術) フィジカルアセスメント	看護コミュニケーション論 看護過程展開論 看護過程演習 治療援助論					
専門分野II	リプロダクティブヘルス看護学	基礎看護学実習I(基礎)	基礎看護学実習II(発展)	リプロダクティブヘルス看護学概論	リプロダクティブヘルス看護学方法論 リプロダクティブヘルス看護学演習	リプロダクティブヘルス看護学実習		
	小児看護学			小児看護学概論	小児看護学方法論 小児看護学演習	小児看護学実習		
	成人看護学			成人看護学概論	成人看護学方法論I(急性期、周手術期看護) 成人看護学方法論III(がん看護、終末期看護)	成人看護学実習I(慢性期看護) 成人看護学実習II(周手術期看護)		
	老年看護学			老年看護学概論	老年看護学方法論 老年看護学演習	老年看護学実習I[病院看護] 老年看護学実習II[施設看護]		
	精神看護学			精神看護学概論	精神看護学方法論	精神看護学演習	精神看護学実習	
	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	行政における看護活動	健康教育・保健指導論				
統合看護分野	在宅看護学			在宅看護学概論	在宅看護学方法論	在宅看護学演習	在宅看護学実習 継続看護学実習(選択必修) ^{注2)}	
	統合科目		家族看護論	看護倫理学	看護管理論 災害看護論 バリエーティブケア	国際看護論	統合看護演習 統合技術演習	
	看護研究				看護研究法概説		看護マネジメント実習(選択必修) ^{注3)} 看護研究	
養護教諭コース 専門科目					コミュニティアセスメント論(養)	養護実習(養)		
保健師コース 公衆衛生看護学					コミュニティアセスメント論(保) 学校における看護活動(保)	公衆衛生看護学実習I(健康支援)(保)	健康教育・保健指導展開論(保) 産業における看護活動(保) 公衆衛生看護管理論(保) 公衆衛生看護学実習II(活動の展開)(保) 公衆衛生看護学実習III(管理)(保)	

■ : 必修科目

□ : 選択科目

■ : 保健師コースまたは養護教諭コースに必要な科目

注) 関連職種連携実習(選択必修:若干名)、看護マネジメント実習(選択必修)、継続看護学実習(選択必修)から 2単位履修する。